

## 2020(令和2)年度 第2回公共図書館部会幹事会記録

- ・日時 2021(令和3)年3月2日(火) 午後2時～4時
- ・場所 日本図書館協会 2階研修室 (Zoom会議)
- ・幹事現員数 16名、Zoom出席幹事10名、書面決議5名、議長委任出席1名
- ・zoom出席幹事：宇梶宏美(栃木県立図書館、部会長)、杉原栄(富山県立図書館、副部会長)、西口禎二(大阪府立中央図書館、副部会長)、斎野和則(福島県立図書館)、稲場友昭(群馬県立図書館)、三木信夫(大阪市立中央図書館)、吉田恵子(福岡市総合図書館)、安宅仁志(個人会員選出)、水澤弘幸(個人会員選出)、堀渡(個人会員選出)
- ・書面決議幹事：小田島正明(岩手県立図書館)、別所志津子(三重県立図書館)、網浜聖子(鳥取県立図書館)、渡邊勇人(香川県立図書館)、濱田義之(熊本県立図書館)
- ・委任状：安部浩成(千葉市中央図書館)  
事務局：鈴木隆(日本図書館協会常務理事兼事務局次長)

冒頭あいさつ：小田光宏(日本図書館協会理事長)

冒頭、小田理事長から挨拶があった。部会規程により、宇梶宏美部会長が議長となり議事を進めた。

### 議題

- 1 2021(令和3)年度公共図書館部会事業計画(案)及び予算計画(案)について、原案どおり承認された。
- 2 2021(令和3)年度公共図書館部会幹事会及び総会の開催方法について  
第1回幹事会は4月7日(水)から4月21日(水)まで書面で、第2回は5月18日(火)にZoomで、部会総会は5月20日(木)から6月9日(水)まで書面で行うことが提案され、原案通り承認された。
- 3 2021(令和3)年度公共図書館部会役員体制については、①部会長は、関東地区公共図書館協議会会長が務める。次期は茨城県立図書館となる。②副部会長は部会長の推薦による。大阪府立中央図書館で引き継げるように対応する。③推薦理事については、現在中山理事が6月の代議員総会まで任期があるので、役員についての協議を部会長・副部会長とで検討していく。④代議員については、2022年の代議員選挙終了までの任期となるがそれぞれのブロックごとに定数内で推薦していただく。3月31日、4月1日の人事異動があるので、部会長・副部会長で協議し、都道府県立図書館長を確認の上対応することを承認した。なお、このため、4月6日までに

図書館長名の調査をすることとなった。

- 4 図書館資料費増額、図書館振興についての進め方については、今年度の報告を交えて行い、今年度の対応で進めることとなった。特に著作権法関係の動きと関係文書が事務局から紹介した。

○幹事からの意見・報告

今年度の公共図書館全国研究集会は大阪府立中央図書館が担当し、オンラインで行った。54名の参加申し込みがあり、再生回数は11,000回を超えた。

- 5 その他

○昨年の幹事会・総会が新型コロナウイルス感染症の影響で書面決議となったため初めての顔合わせとなった。そのため冒頭で出席幹事の自己紹介を行い、新型コロナの影響、2月13日の地震の影響などを情報交換した。

○今後の規程改正の予定が事務局から報告された。部会規程の第9条幹事任期と第12条に代議員選出規定が来年度改正提案される見込みであるとの報告があった。①幹事任期は通則規程やほかの部会規程は2回まで再任でき、相当の理由があれば、この限りでないとしているが、公共図書館部会は3回まで再任されることができると規定され、整合性が取れていないこと。②現在、代議員選挙規程の検討が行われており、公共図書館部会は規程の中に代議員数が明記されているが、施設会員数の変動などあるので理事会の定数決定により変化する可能性がある。このことをふまえて、来年度の幹事会・総会で提案する予定であることが事務局から報告された。

○Zoom会議はスムーズに行えたが、自治体の情報環境により出席できない幹事がおり今年度予算の流用等で環境整備をする可能性を事務局から報告した。